

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	133児童・生徒の健康と安全の確保		
施策のねらい (めざす姿)	すべての児童・生徒が心身ともに健康で安全な学校生活を送っています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	マネージャー氏名	柴田 康弘

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	PFI事業方式による新学校給食センターを建て替え、開業する。	③改革・改善内容	学校内外での児童・生徒の安全安心の向上を目指し、学校給食の充実、通学路整備、各種健康診断等を実施する。
②①に基づく取り組み結果	新学校給食センターの開業により、施設、衛生面が改善され、安全安心な学校給食の充実が図られた。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市内小中学校児童生徒	意図(対象をどうするのか)	すべての児童生徒が、心身ともに健康で安全な学校生活を送ることができる環境の整備。
②施策の概要	安全で魅力ある学校給食の提供、通学路や公園等学校外での安全確保、心身の発達に伴う健康管理等により児童生徒の育成環境を向上させる。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	食物アレルギーによる事故、通学路での事故、不審者情報が多発する中、学校内外における児童生徒の安全に対する要望、基準が高くなっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	学校給食センター建替事業により施設、衛生面の改善が図られ、PFI事業によりコスト削減や効果的な運営が図られた。また「第二次通学路安全対策推進行動計画」に基づく通学路整備により児童生徒の安全性が向上した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	学校災害件数の割合	%	6.7	6.5	6.1	5.5
	ii	子ども安全メール登録者数	人	7,881	5,163	5,786	6,200
	iii	学校給食残菜率(※平成26年度より計量方法の変更あり)	%	13.2	14.2	25.4	13.2
③基本事業成果指標	i	学校定期健康診断受診率	%	99	98	97	100
	ii	災害共済給付申請率(学校災害発生件数の割合)	%	6.7	6.5	6.1	5.5
	iii	「こども110番の家」協力者数	件	1,194	1,189	1,193	1,250
	iv	学校給食アレルギー対応品目数	品	0	0	3	3
	v	学校給食残菜率(※平成26年度より計量方法の変更あり)	%	13.2	14.2	25.4	13.2
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	811,382	992,502	(単位:円)	9,136 円		1,022,865	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	通学路整備事業について用地の確保、信号設置、県道協議等中長期的な取り組みが必要。学校給食について安全で魅力的な給食提供の為、アレルギー対応、食育推進の拡充が必要。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	新学校給食センターの開業により、安全安心な学校給食の充実が図られた。通学路の整備とともに交通安全教室の開催等により児童生徒の安全が向上した。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	通学路整備事業		
④上記方向性の説明	通学路整備に伴う用地確保、工事、安全パトロールの拡大、学校給食における食の安全性の確保、食育推進を継続することにより安全安心な環境の維持、向上を目指す。		